

令和2年度事業報告書
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

1 障害福祉サービス事業全般について

平成25年4月から障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業として「就労継続支援B型事業」を開始し、障害者が日中活動を行う場として就労継続支援センター単立を運営している。

同施設では、利用者さんに対して、障害特性に応じたサービスが提供できるように日々の支援に工夫を心がけている。

また、昨年初めに発生し日本全国で感染拡大し始めた新型コロナウイルスへの対応の一環として、利用者さんの毎日のバイタルチェック（検温・血圧・体重測定等）、体調確認を行うことで利用者さんの日々の健康状態を把握するよう努めるとともに、利用者全員を対象とした年1回の定期健康診断や感染症予防のためのインフルエンザの予防接種を希望者に対して実施し、健康管理を徹底した。

就労継続支援B型事業所としては、利用者さんの各々の能力や適性に応じた作業の提供を行い、作業の種類や内容にあわせた作業指導を心がけるほか、事業所内における生活行動全般についての指導も行った。

なお、事業所に勤務する職員については、利用者さんに対する支援の資質を向上させ、様々な障害特性を持つ利用者さんに対して効果的な支援ができるようなスキルを身につけるため、徳島県や社会福祉協議会等が実施する研修に積極的に参加するように心がけたものの、年度当初からの新型コロナウイルス感染拡大により、研修が中止になってしまふなどの影響により、十分な人材育成ができなかった。

2 事業の概要

(1) 利用定員

20名（令和3年3月末現在：利用者14名）

(2) 職員体制

- ①管理者：1名（※生活支援員を兼務）
- ②サービス管理責任者：1名
- ③支援員：4名（職業指導員2名、生活支援員2名）（※うち1名は管理者を兼務）
- ④非常勤職員：2名（職業指導員、送迎運転手）

(3) 作業の種類及び内容

①施設内作業

造花組立作業	様々な造花の組み立て、袋詰め、ボンド付け等の作業
鍵組立作業	ドアに使用する鍵の部品作り、グリス塗り、組立作業
和紙折り作業	染めものをする和紙を様々な模様に合わせて折る作業
ねじ袋詰め作業	ホームセンターで販売する「ねじ」等の袋詰め作業

②施設外作業

体育館清掃作業	市立体育館（牛島体育館）の玄関まわり・ホール靴箱・トイレ等の定期的な清掃作業。（週1回及び年間清掃4回）
資源ごみ回収分別作業	地元企業（キョーエイ・マルワ環境）と協働し、キョーエイ駐車場での資源ごみの回収及び分別作業。
農園芸作業	地元農家さんの協力による農作業の手伝い。 他のNPO法人との協働により吉野川市内の竹林の伐採、運搬、竹パウダーの製造・袋詰め作業。
公園清掃作業	吉野川市が管理している西麻植駅前広場の維持管理業務。 主に、ごみ拾いや雑草処理等の作業を毎月2回実施。

(4) 作業収入

- 令和2年度収入額 2,720,158円（令和元年度 3,850,928円）
- 利用者工賃支給額 2,720,158円

(5) 令和2年度年間事業一覧

別紙資料（3ページ）参照

(6) 地域交流事業等

①夏期社会適応訓練事業

②地域の小中学校との交流事業

※①及び②ともに新型コロナウイルス感染拡大のため中止

③支援学校からの就業体験事業

○国府支援高等学校 2年生2名、10月26～28日の3日間受け入れ

④社会見学・体験学習

○書道体験 7月31日に実施。鴨島中央公民館で11月1～29日に開催された「遊墨展」で作品を展示。

※社会見学は、新型コロナウイルス感染拡大のため実施を見送った。